

市町村名	本部町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	ハブ咬傷防止事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(3)-オ	
担当部課名	健康づくり推進課	事業実施 (予定)年度	平成25～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	保健衛生環境の向上	
事業内容	<p>台湾ハブ等の捕獲器設置・回収を行うことにより、個体数の減少及び拡大する生息域の抑制を図り、地域住民や観光客の咬傷事件を予防し、安心・安全な観光地づくりを目指す。</p>						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	7,878	12,573	13,914	14,086	15,751
		(b) 予算現額	7,878	12,393	13,196	14,086	15,584
		(c) 増減額(b-a)	0	▲180	▲718	0	▲167
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		7,878	12,393	13,196	14,086	15,584
	B. 執行済額		7,779	10,983	13,144	14,113	15,238
	うち交付金充当額		6,223	8,786	10,515	11,268	12,190
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		98.7%	88.6%	99.6%	100.2%	97.8%
予算の状況の説明		捕獲したハブの売上額が当初計画より増加する見込みがあったため167千円減額した。 不用額346千円については、作業員の通勤手当が見込みより下回ったことが主な要因である。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	ハブの捕獲器を町内750カ所に設置		目標 ( 450カ所 )	( 550カ所 )	( 650カ所 )	( 750カ所 )	
			実績	450カ所	550カ所	650カ所	750カ所
			目標 ( )	( )	( )	( )	
			実績				
達成状況説明	・台湾ハブ等の捕獲数の多い地域や、台湾ハブ等の目撃情報や生息が懸念されている地域を重点的に、ハブの捕獲器を新たに100基設置した。(650基から750基へ増設)						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値 (1年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	ハブによる咬傷被害件数0件		目標 ( )	( 0件 )	( 0件 )	( 0件 )	( )
			実績	1件	2件	8件	
	【参考指標】 ハブ年間捕獲数		目標 ( )	( 1,307匹 )	( 1,500匹 )	( 1,500匹 )	( )
			実績	1,403匹	1,436匹	1,751匹	
	進捗状況説明	・町内において台湾ハブ等の咬傷被害が8件確認された。					

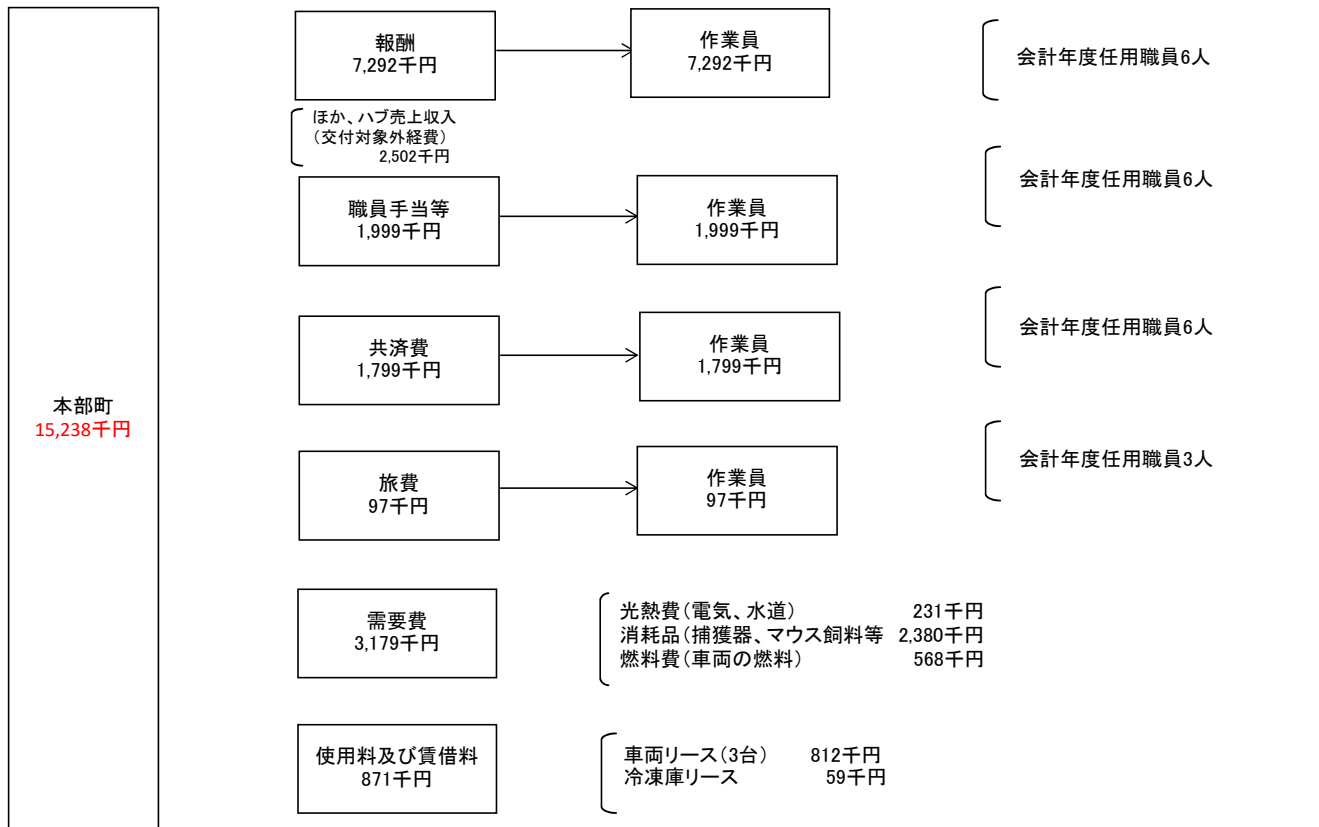
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月～11月にかけてハブ咬傷被害が確認された。</li> <li>・台湾ハブの捕獲数が令和3年度1,436匹から令和4年度1,751匹と315匹増加した。</li> <li>・これまで台湾ハブ等の捕獲が少なかった地域でも増加傾向になっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・台湾ハブ等の咬傷被害を予防するため注意喚起を行う必要がある。</li> <li>・捕獲数が増加傾向にあるため、更なる捕獲器増設を行い、個体数の減少を図る必要がある。</li> <li>・台湾ハブ等の生息域が拡大していることが懸念されるため、目撃や捕獲があった場所周辺への捕獲設置が必要である。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・町のホームページや町広報誌等で注意喚起を行い、咬傷被害防止を図る。
- ・ハブ捕獲器を750基から850基に100基増設し、捕獲数の多い地域へ重点的に設置することにより個体数の減少を図る。
- ・台湾ハブ等の生息域の拡大が懸念される地域や地域住民からの情報をもとに捕獲器設置を行い、生息域の見極めを行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
17,740	15,238	12,190	3,048	2,502



資金の用途の点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・作業員は書類選考及び面接により選定しており、妥当であるとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模については、ハブ捕獲器の単価が上がり需用費の増加があったが適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・用途についてはハブ捕獲で使用するマウスの飼料費や捕獲器購入など、事業目的達成の観点から必要なものである。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	本部町						
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	1-③	もとぶマイクロツーリズム推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-(ウ)	
担当部署名	企画商工観光課	事業実施(予定)年度	令和4~6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	多彩かつ質の高い観光の推進		
事業内容	本町を訪れる観光客等に対し地域資源を案内するガイドツアーの企画・運営等を行う事務局員を配置し、観光ガイドの養成とスキルアップ研修を行い、地域住民主体のマイクロツーリズムの推進を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(    年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(    )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	7,635				
		(b) 予算現額	7,635				
		(c) 増減額(b-a)	0				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計(b+d)	7,635				
		B. 執行済額	6,564				
		うち交付金充当額	5,251				
		次年度繰越額	0				
		執行率(%) (B/A)	86.0%				
予算の状況の説明		不用額1071千円については、人件費や消耗品、ガイドおよび講師謝金の減などによるものである。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	町観光協会へ補助金の支出 1件/年	目標	( 1件 )	(    )	(    )	(    )	
		実績	1件				
		目標	(    )	(    )	(    )	(    )	
		実績					
達成状況説明	・町観光協会への補助により、ガイド団体事務局運営にかかる人員の配置と運営体制を整備し、ガイドツアールートの新規認定ガイドの養成を実施した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	町認定ガイドの養成	目標	(    )	( 15人 )	(    )	(    )	(    )
		実績		16人			
		目標	(    )	(    )	(    )	(    )	(    )
		実績					
	進捗状況説明	・観光ガイド養成講座は予定より受講希望者が多く、定員を超えた16人を受け入れた。受講者全員が認定ガイドの資格を得られるよう補講を実施するなどのフォローを行った。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(町認定ガイドの養成) ・令和2年度に取り組んだガイド養成と認定ガイドによるガイドルート策定活動により、地域住民が主体となったマイクロツーリズム推進の機運を高め、成果目標達成に繋がったと考えられる。	(町認定ガイドの養成) ・認定ガイド人数の増加とともに、新規認定ガイドがルート策定やモニターツアーの実施に参画しやすい体制の構築を図る。
<b>今後の取り組み方針</b>		
(町認定ガイドの養成) ・認定ガイドには継続的なスキルアップ研修を実施し、モニターツアー実施による既存ルートの磨き上げと新規ルートの策定を図る。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
7,293	6,564	5,251	1,313	729

```

graph LR
    A[本部町 6,564千円] --> B[補助金 6,564千円]
    B --> C["(一社)本部町観光協会"]
    C --- D["もとぶマイクロツーリズム推進事業補助金  
・事務局員の配置  
・ガイドルートの策定  
・モニターツアーの企画・運営  
・スキルアップ研修の実施"]
    C --- E["ほか、観光協会負担分  
(交付対象外経費)"]
  
```

資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○地域住民主体のガイド団体運営には観光協会が適しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○新型コロナウイルスの影響によりモニターツアーやスキルアップ研修の開始が遅れたため、不用額が事業費の14%となったが適正な規模だったと考えている。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○受益者である観光協会は総事業費の1割を負担しており、事業内容や他の事業の負担割合から判断しても妥当であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。

市町村名	本部町						
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	1-④	本部町観光危機管理計画策定事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(4)-ア		
担当部署名	企画商工観光課	事業実施 (予定)年度	令和4～5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	危機管理体制の強化		
事業内容	自然災害等の観光危機において観光客への情報発信及び支援や観光産業の早期復興等を行う体制整備を図るため、観光関連事業者への観光危機管理知識の普及啓発を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A)		2,926				
			2,842				
			▲ 84				
			0				
			2,842				
		2,841					
		2,273					
		0					
		100.0%					
予算の状況の説明	計画通りに適正に執行できた。84千円の減額については、入札残によるものである。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	観光危機管理計画の理解	目標	(      )	(      )	(      )	(      )	
		実績	・勉強会4回開催 ・訓練2回開催				
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	
実績							
達成状況説明	平常時における減災対策や観光危機が発生した場合の危機対応への準備、危機への対応、危機からの回復等について町内観光関連事業者に対し、勉強会及び訓練を実施することができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	評価される観光リゾート地の形成に向けて観光危機管理の必要性について理解が図られたかアンケートを実施(80%以上)。	目標	(      )	( 80% )	(      )	(      )	(      )
		実績		91%			
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績					
進捗状況説明	観光危機管理への普及・啓発における勉強会、訓練へ参加された本部町観光関連事業者等へ対しアンケートを実施し「観光危機管理の必要性について理解が図られた」で91%の回答を得た。						

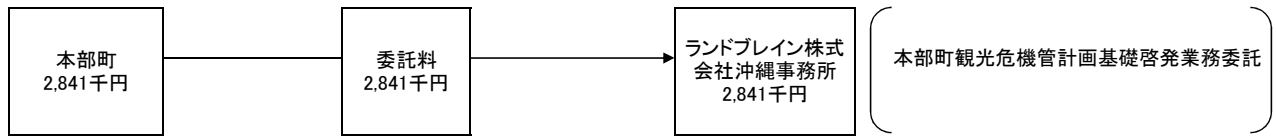
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初回の勉強会では観光関連事業者事業の参加者は30名であったが2回目以降の勉強会及び訓練においては10名～13名の参加者となった。</li> <li>・勉強会及び訓練の開催が毎月1回の頻度での実施となり参加者率の減少になったのかと考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強会などの開催時期や時間等、観光関連事業者の参加しやすい日程を把握し募集を行うことや、本町の観光協会や商工会との連携をさらに密にして勉強会や訓練実施の情報発信強化を行う。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

今年度の事業目的である観光危機管理知識の普及・啓発は一定以上図れたものと考えているが、危機管理策定にあたって更なる観光関連事業者への理解、協力が必要となってくる。更なる官民連携強化を図り観光危機管理計画・マニュアルの作成を行い訓練の実施をとおして安全・安心な観光地として観光リゾート地の形成を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,841	2,841	2,273	568	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織や業務実績、企画などを勘案したうえで選定しており、妥当である。</li> <li>○事業内容に沿った予算規模であり、妥当である。</li> <li>○実績において必要なもののかについて検査、確認し適正であった。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

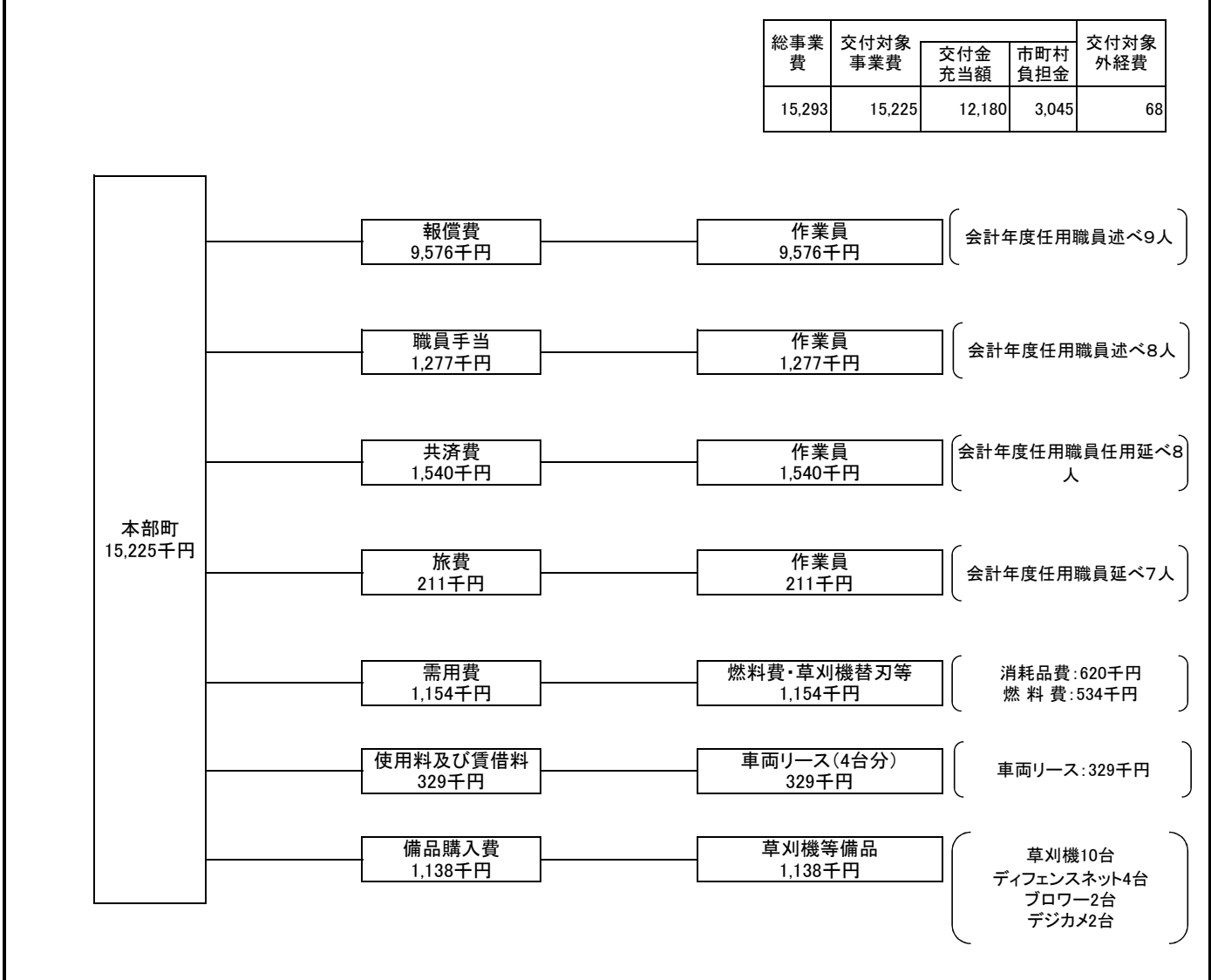
市町村名	本部町						
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	1-⑤	もとぶ観光地クリーンアップ事業					
担当部署名	企画商工観光課	事業実施(予定)年度					
		令和4～令和13年度					
		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所					
		沖縄振興基本方針該当箇所					
		第4章-1-(1)-ウ 人と環境にやさしいまちづくりの推進					
		Ⅲ-1-(1)					
事業内容	魅力的な観光地としての景観美化を図るため、国道及び県道・町道の除草作業などを実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	29,079				
		(b) 予算現額	15,602				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 13,477				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計(b+d)	15,602				
	B. 執行済額		15,225				
	うち交付金充当額		12,180				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		97.6%				
予算の状況の説明		事業開始初年度で早期の雇用周知を行ったが、予定していた人数を早急に確保することが出来なかった。また、車庫リースにおいて半導体不足等の影響もあり納車に時間を要してしまった。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	観光地、国道及び県道・町道を主とした除草作業等を実施	目標	( 国・県・町道の除草作業 )	( )	( )	( )	( )
		実績	観光地、国・県・町道の除草作業を実施				
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	国道、県道については県所管の管轄になっており除草作業のスケジュール等を確認し取組んだ、また、本町の観光地や町道については随時状況把握を行い除草作業等を実施した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や町民へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	( )	( 80% )	( )	( )	( )
		実績		84%			
		目標	( )	( )	( )	( )	( )
		実績					
	進捗状況説明	本町へ訪れる観光客等に対しアンケートを実施し、観光地や歩道等の景観形成について「雑草等による障害がなく安全・安心環境や観光地としての景観形成がなされているか」で84%の回答を得た。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定していた作業員10名の雇用をスムーズに行うことが出来なかった。</li> <li>・国道、県道における除草作業においては、道路管理者の沖縄県が行う除草等のスケジュールを把握し、当該事業での実施時期の区分けが必要なため早期からの調整が必要である。</li> <li>・町内観光地やそのアクセス道路を主とした作業を行ったが、除草実施場所の範囲や草木の生長が速いため人員配置の見直しが必要と考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続事業となる令和5年度においては、早期に人材の確保が図れるようハローワークへの求人情報を発信する。</li> <li>・沖縄県との連携を図り、年間の作業等のスケジュール把握を行い本町の除草スケジュールを整える。</li> <li>・継続的な環境美化作業を実施するために人員増を行う。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

今後も安全・安心、快適な観光地としての環境整備を図るため、作業員の人員確保及び関係機関との連携を図り継続的に実施していく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・作業員は書類選考及び面接により選定しており、妥当であるとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模については、雇用の時期や車両リースの納車時期により減額となったが適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・用途については除草作業等に必要な備品購入や消耗品購入であり、事業目的達成の観点から必要なものである。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	



市町村名		本部町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	もとぶブランド牛改良促進事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ア			
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	令和4～6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化			
事業内容	町内の肉用牛生産農家及び農業生産法人で生産する牛のブランド化に向けた改良を促進するため、採卵用優良雌牛の導入及び人工授精等の支援を行う。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( 6 年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	19,347					
		(b)予算現額	16,297					
		(c)増減額(b-a)	▲ 3,050	0	0	0	0	
		(d)繰越額	0					
		A.計(b+d)	16,297	0	0	0	0	
	B.執行済額		12,919					
	うち交付金充当額		10,335					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		79.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		不用額3,378千円については、委託の牛購入における入札残や牛の導入時期による飼養管理期間の減によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況					
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度		
	採卵用優良雌牛の導入 2頭	目標	( 2頭 )	( )	( )	( )		
		実績	2頭					
	優良子牛の生産に向けた人工授精等の補助	目標	( 人工授精等の補助 )	( )	( )	( )		
		実績	-					
達成状況説明	・採卵用優良雌牛の導入については、予定通り2頭の導入を完了した。 ・優良子牛の生産に向けた人工授精等の補助については、導入完了時期が当初の想定より遅れたため実施できなかった。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R6年度)	
	採卵用優良雌牛導入の完了	目標	( )	( )	( )	( 導入の完了 )	( )	
		実績				導入の完了		
	優良子牛の生産に向けた人工授精等支援の完了	目標	( )	( )	( )	( 人工授精等支援の完了 )	( )	
		実績				-		
	本事業で生産された子牛のセリ平均価格:その他の子牛のセリ平均価格以上	目標	( )	( )	( )	( )	( 平均価格以上 )	
実績								

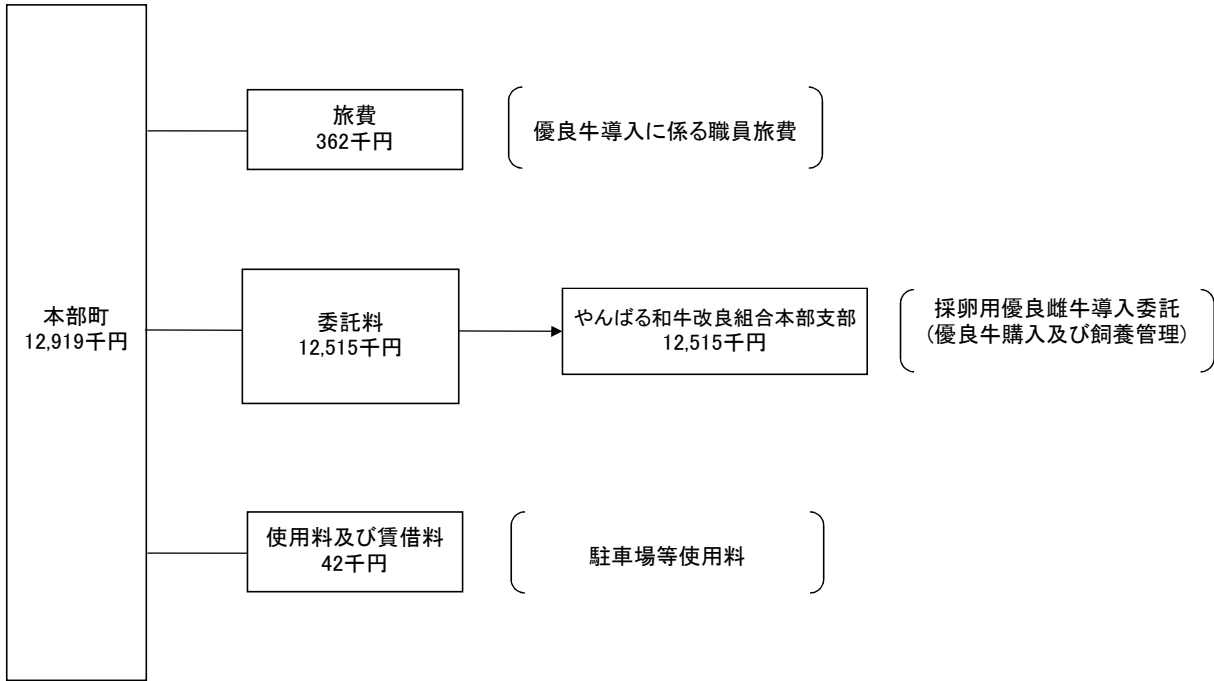
進捗状況説明	採卵用優良母牛の導入と安定に想定以上の時間を要したため、年度内で人工授精等支援を完了することができなかった。
--------	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(優良子牛の生産に向けた人工授精等支援の完了) 導入した雌牛が新しい環境に適応し、採卵に向けた処置を行うために不可欠な安定した発情が始まるまでに時間を要したことが、目標未達成の要因の一つとして挙げられる。	(優良子牛の生産に向けた人工授精等支援の完了) 雌牛の状況を常に把握し、飼養環境を見直し最適な時期に処置を行うことで、安定した採卵が行えるよう努める必要がある。

今後の取り組み方針
(優良子牛の生産に向けた人工授精等支援の完了) 町職員による定期的な巡回を行うとともに、県畜産試験場や、家畜改良協会等外部機関の助言を取り入れる機会を設けることで飼養管理環境を整え、優良雌牛からの安定した採卵が行えるよう取り組む。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,919	12,919	10,335	2,584	0



資金の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は本事業を円滑に実施できる本町唯一の団体であり、選定は妥当であると考えます。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は事業費の〇%以内であり適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

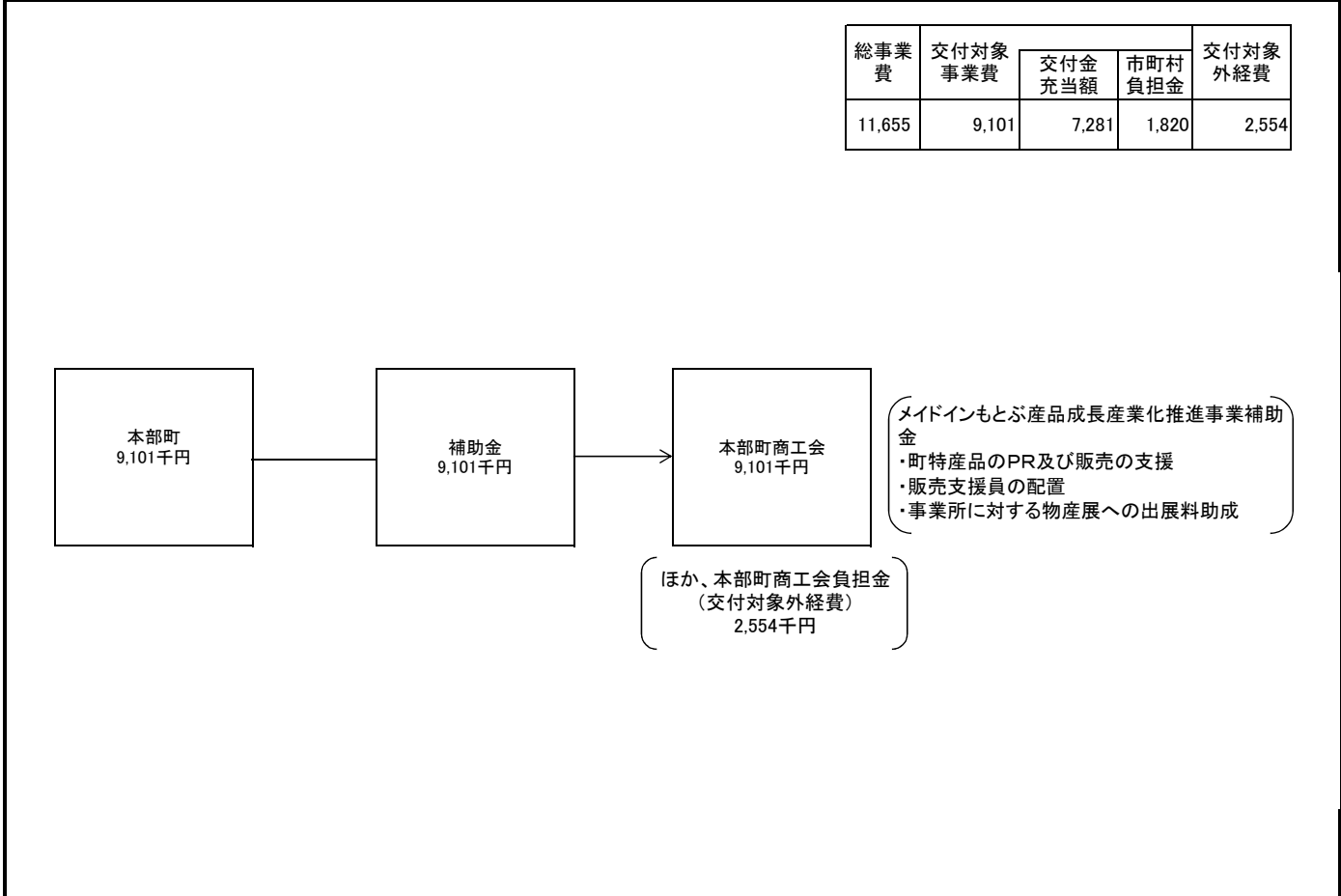
市町村名		本部町					
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	4-3-(7)-ウ 多様なニーズに対応するフード バリューチェーンの強化	
担当部署名	企画商工観光課	事業実施 (予定)年度	平成28～令和8年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(7)	
事業内容	特産品取扱事業者に対する物産展等への出展支援、販売支援員の配置等を行い、町特産品の販路開拓・拡大を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 (      )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の 状況	(a) 当初予算額	12,421	13,793	13,794		12,323
		(b) 予算現額	12,421	13,393	12,277		11,123
		(c) 増減額 (b-a)	0	▲ 400	▲ 1,517		▲ 1,200
		(d) 繰越額	0	0	0		0
	A. 計 (b+d)	12,421	13,393	12,277		11,123	
	B. 執行済額	10,392	12,013	11,232		9,101	
	うち交付金充当額	8,313	9,610	8,985		7,281	
	次年度繰越額	0	0	0		0	
	執行率 (%) (B/A)	83.7%	89.7%	91.5%		81.8%	
予算の状況の説明	減額(1,200千円)及び不用額(2,020千円)については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、物産展の開催見通しがたない状況が続いたため、一部事業が実施困難となった。また、イベント制限が続く中事業者も消極的になり企画事業者が予定より減少した為。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R4活動目標(指標)	達成状況					
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	・商工会への支援の実施 (メイドインもとぶ産品のリスト化)	目標	(もとぶ産品のリスト化)	(もとぶ産品のリスト化)	(      )	(もとぶ産品のリスト化)	
		実績	5業者の商品をリスト化	7業者の商品をリスト化		3業者の商品をリスト化	
	・商工会への支援の実施 (メイドインもとぶ産品のPR及び販売の支援)	目標	(PR及び販売支援)	(PR及び販売支援)	(      )	(PR及び販売支援)	
		実績	5回支援	3回支援		4回支援	
	・商工会への支援の実施 (県内外物産展等への出展支援)	目標	(出展支援(5回))	(出展支援(5回))	(      )	(出展支援(5回))	
実績		5回支援(県内2、県外3)	3回支援(県内1、県外2)		8回支援(県内5、県外3)		
達成状況説明	物産展等への出展支援においては8回支援。新たに館鼻岸壁朝市(青森県八戸市)での販売、出展支援を行うことで、継続的にもとぶ産品のPRを行うことができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R4成果目標(指標)	基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)	
	新規取引契約数 10件以上	目標	(      )	( 10件 )	(      )	( 10件 )	(      )
		実績		10件		4件	
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
実績							

進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、休業する事業者など自社の経営回復を優先するにあたり、新規契約に繋げることが困難だったこともあり、主に町外事業者との契約実績が不十分であり、4件の実績となった。
--------	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物産展等の出展支援について、物産展等への参加回数は例年より増加しているが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、イベント制限が続く中、事業者も消極的になり参画事業者が減少している状況である。</li> <li>・新規取引契約数について、町内事業者との契約は通年を通してある程度達成できている状況ではあるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、町外事業者との契約実績が不十分であり、課題となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物産展等の出展支援について、今後は経済も回復傾向にあることから、県内外で開催される物産展等に積極的に参画してもらうため、広く周知を行い、町産品の販売促進、販路開拓を図る必要がある。</li> <li>・新規取引契約数について、今後も引き続き新規契約確保に向けて取り組んでいく。特に町外事業者との契約確保を強化することで、町外での町産品の使用頻度も増え、町産品のさらなる周知拡大、販路拡大を図る。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<p>・今後も町内外への物産展等へ継続的に参加し、町産品のPR、販路開拓を図る。また新たな物産展等へ参加することで、販路開拓、拡大の機会を増やし参画事業者の積極的な参加を図ることでさらなる町産品のPR、販売促進につなげる。また販路開拓等の機会を増やすことで、町産品のPR拡大にもつなげ、魅力向上にもつなげることで町外事業者との契約確保強化も図る。</p>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流れ、費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助先は本事業を円滑に実施できる本町唯一の商工会であり、補助要件に照らして選定は妥当であると考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○新型コロナウイルスの影響で物産展等への参画事業者が少なくなり不用額があったが、予算は事業内容に沿った適正な規模であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○本事業は町の産品について網羅的に販路拡大を目指していく事業で有り、公益性が高く受益者負担は妥当である。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途は事業費確定時に検査、確認しており、適正である。

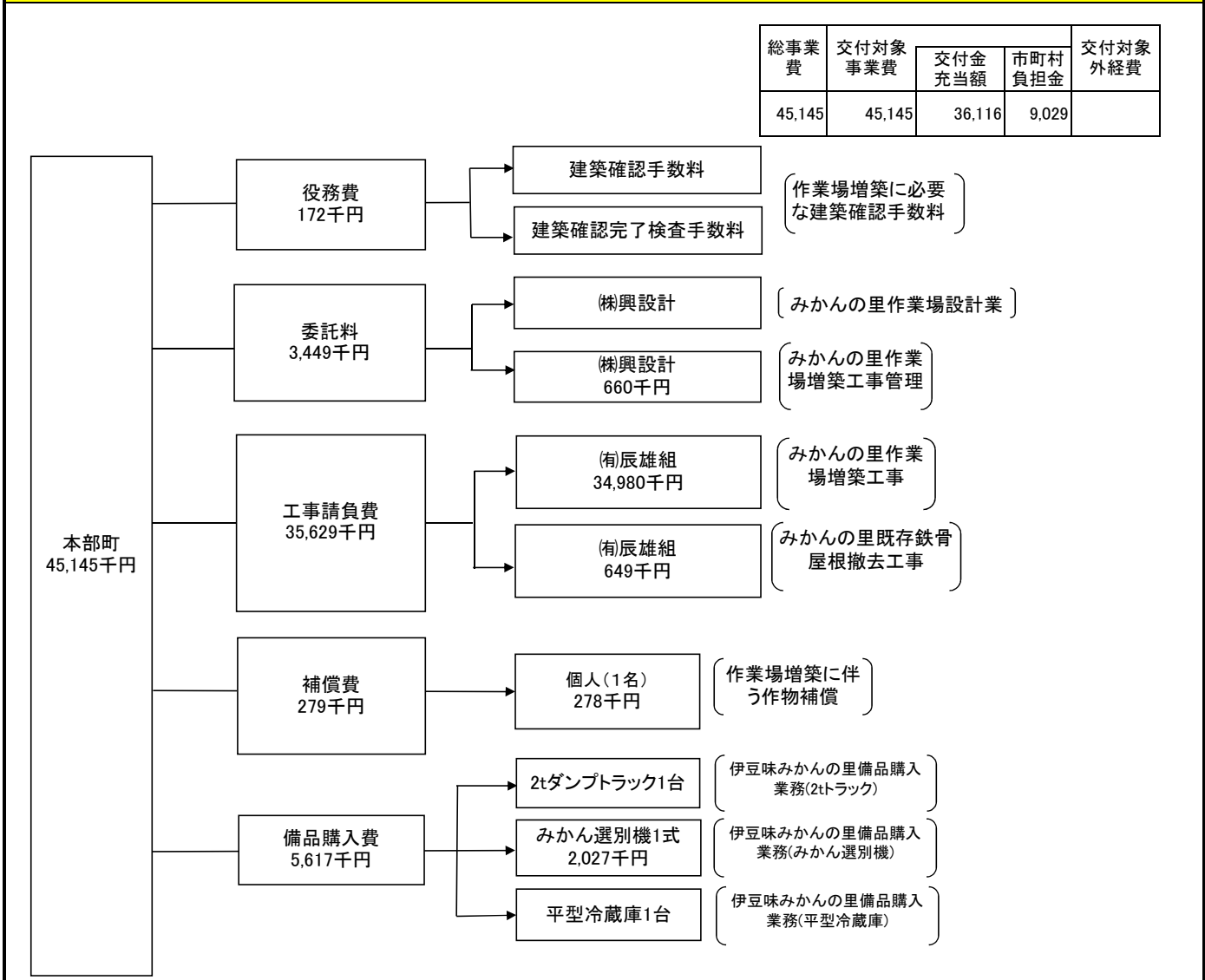
市町村名	本部町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-③	みかんの里機能強化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-ウ	
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	令和4～5年度		沖縄振興基本方針該当箇所	多様なニーズに対応するフードバリューチェーンの強化	
事業内容	観光客の利便性向上及び、柑橘の集荷作業効率化のため、伊豆味みかんの里総合案内所の駐車スペース確保と、出荷及び選果作業場を整備する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		35,656				
			45,479				
			9,823	0	0	0	0
			0				
			45,479	0	0	0	0
		45,145					
		36,166					
		0					
		執行率(%) (B/A)	99.3%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
	予算の状況の説明	当初計画では50㎡部分の建築を予定していたが、より機能性を高めるため147㎡の建築としたことから設計委託料及び工事請負費が9,823千円の増額となった。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	出荷選果場の整備	目標	( 146㎡ )	(            )	(            )	(            )	
		実績	147㎡				
		目標	(            )	(            )	(            )	(            )	
		実績					
達成状況説明	屋根の147㎡の整備が完了した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	伊豆味産みかんの売上高	目標	(            )	(            )	(            )	( 20,400千円 )	(            )
		実績				17,000千円	
		目標	(            )	(            )	(            )	(            )	(            )
		実績					
	進捗状況説明	集出荷場の整備に想定以上の時間を要したため、売り上げの増加に寄与することができなかった。来季からは集出荷場をフル稼働することができるので目標を達成できる見込みとなっている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(伊豆味産みかんの売上高) 当初の計画より建築面積が大きくなったことや集出荷場の整備に想定以上の時間を要し、工事の完了が3月末となったため、令和4年度の施設稼働期間が短かったことが目標値達成の要因と考えられる。	(伊豆味産みかんの売上高) 令和5年度からは整備施設が利用されることにより、地域で生産される柑橘類の集出荷量の増加につなげていく。

**今後の取り組み方針**

(伊豆味産みかんの売上高)  
整備した施設を利用することによって、地域で生産される柑橘類の集出荷及び販売量の拡大を図る。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事受注者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の1%以内であり適正な規模であった。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	本部町						
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	2-④	もとぶ農産物産地形成事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	4-3-(7)-ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化		
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	令和4~6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)		
事業内容	病害虫を防除し、灌水環境の課題を解決するため、パイプハウス施設に灌水設備等の付帯設備を加えた一体的な整備に対する支援を行い、農産物出荷量の向上を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度( R5 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	44,470				
		(b) 予算現額	40,558				
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,912				
		(d) 繰越額	0				
	A. 計(b+d)		40,558				
	B. 執行済額		40,309				
	うち交付金充当額		32,247				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		99.4%				
予算の状況の説明		執行率は99.4%であるが、不用額は事業主体の入札残によるものであり、事業は適切に執行されている。					
活動目標(指標)及び達成状況	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	パイプハウス施設及び付帯設備の整備に対する補助 4,104㎡	目標	( 4,104㎡ )	( )	( )	( )	
		実績	3,956.4㎡				
	生産農家 4戸	目標	( 生産農家4戸 )	( )	( )	( )	
		実績	生産農家4戸				
達成状況説明	土地の形状等の事情により、計画面積より実際の設置面積が多少減少してはいるが、目標通り4戸の生産農家に対し、施設を導入することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R5年度)
	パイプハウス施設及び付帯設備の整備の完了	目標	( )	( )	( )	( 4,104㎡ )	( )
		実績				3,956.4㎡	
	【R5成果目標】 ピーマン収穫量8,600kg以上(10aあたり)	目標	( )	( )	( )	( )	( ピーマン 収穫量:10 aあたり 8.6t以上 )
		実績					
	進捗状況説明	パイプハウス及び灌水設備等の一体的な整備により、病害虫防除対策及び灌水環境の改善が図られた。					

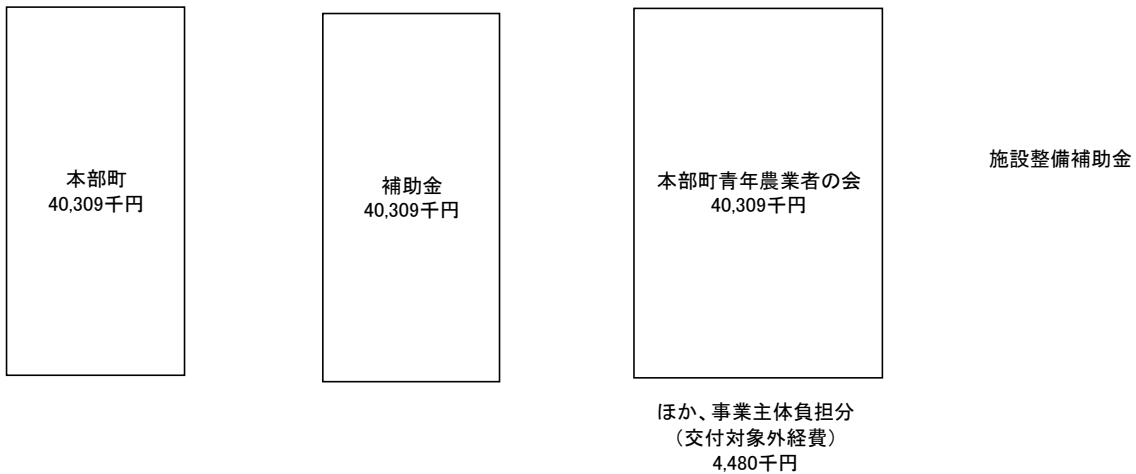
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備箇所において自然環境等の影響がないか施設の状況を確認する必要がある。</li> <li>パイプハウスは病害虫対策や水管理に有効ではあるが、台風襲来時には倒壊の恐れもあることから、ビニールの巻き上げを行い、適正に管理しなければならない。</li> <li>資材等の高騰により、目標件数の整備ができなくなる恐れがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業主体とともに、整備した圃場を巡回し、施設及び農作物の状況を確認する。</li> <li>台風襲来時には施設の状況確認を行い、適正管理の指導を行う必要がある。</li> <li>事業主体への調整を随時行い、余裕を持った予算確保に努めてもらう。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

- ・事業主体とともに農作物の栽培状況の確認を行う。
- ・事業主体による台風対策の指導を行なう。
- ・今後も事業主体と密に連携し、農家の生産意欲の向上を図る。また、作物についても野菜に限らず果樹など農家の要望に柔軟に対応することを検討する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
44,789	40,309	32,247	8,062	4,480



資金の流れ、費目・点検項目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○交付条件を満たす農業者で組織する団体を補助対象としており、選定は妥当であると考えている。 ○予算規模について、不用額は、実施主体の入札残によるものであり適正な規模であった。 ○受益者との負担関係については、実施要領に基づき負担をさせており妥当である。 ○費目、使途についてはは確定時に確認を行い、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○			



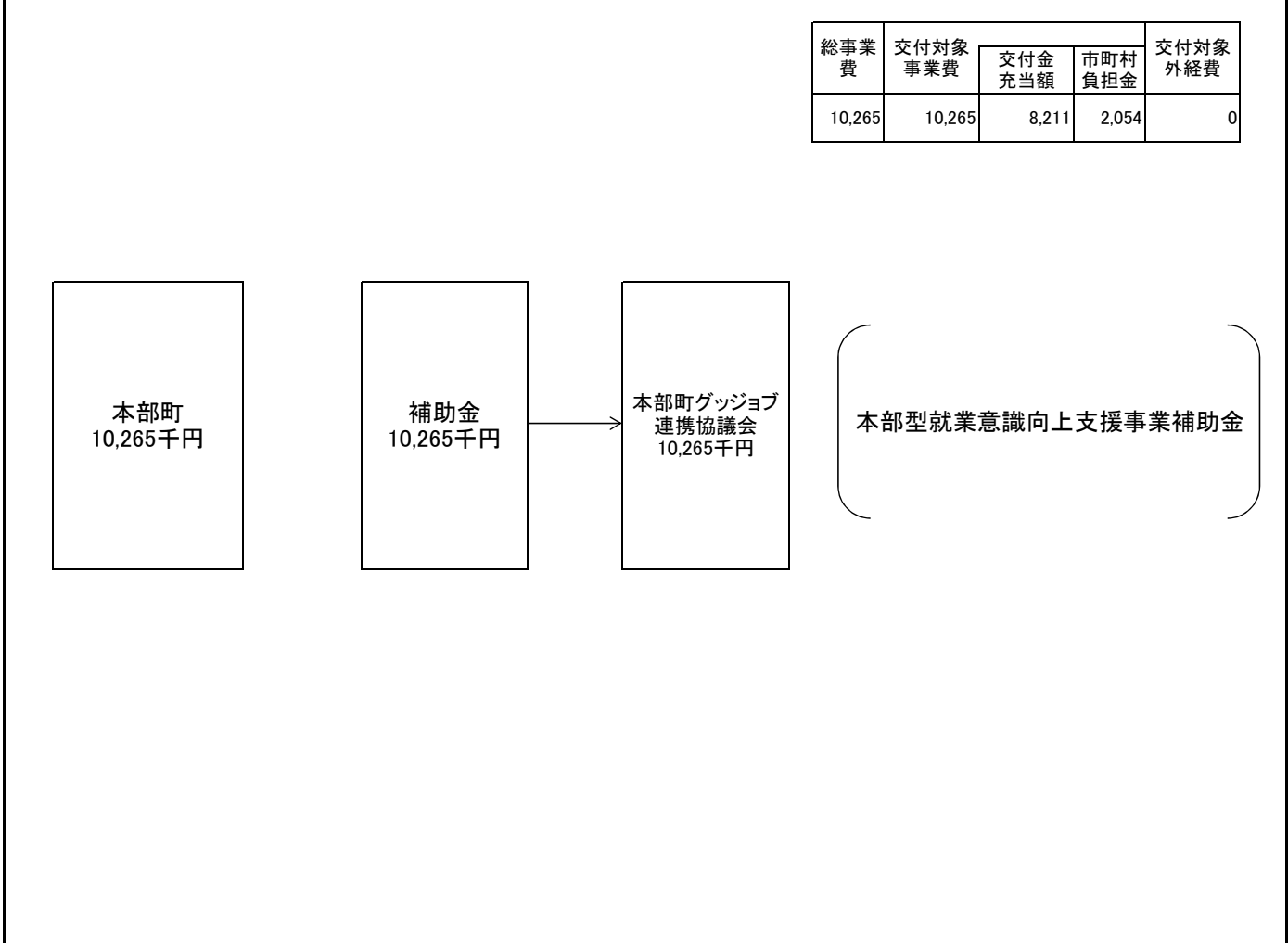
市町村名	本部町						
令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	本部型就業意識向上支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(11)-ウ	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成29～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	若年者の活躍促進	
事業内容	町内小中高生の勤労観や職業観の育成を図るため、ジョブシャドウイングや職場体験、インターンシップ等を行い、町内産業への理解や興味を深めてもらう。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度( 年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	<b>予算の状況</b>	(a) 当初予算額	10,177	10,820	11,573		11,921
		(b) 予算現額	10,177	10,820	11,573		10,500
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0		▲ 1,421
		(d) 繰越額	0	0	0		0
	A. 計 (b+d)		10,177	10,820	11,573		10,500
	B. 執行済額		10,061	10,814	10,547		10,264
	うち交付金充当額		8,049	8,651	8,437		8,211
	次年度繰越額		0	0	0		0
	執行率 (%) (B/A)		98.9%	99.9%	91.1%		97.8%
予算の状況の説明		新型コロナウイルス感染症予防により、当初予定していたキャリア教育委託費の減額、それに伴い新聞印刷費などが減額になった。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	ジョブシャドウイング、職場体験、インターンシップの実施(7校)	目標	( 9校 )	( 8校 )	( )	( 7校 )	
		実績	9校	5校		7校	
	教職員向けマナー研修の実施(1回)	目標	( 2回 )	( 1回 )	( )	( 1回 )	
		実績	1回	1回		0回	
	企業プレゼン大会の実施(1回)	目標	( 1回 )	( 1回 )	( )	( 1回 )	
		実績	1回	0回		0回	
	町内企業体験学習会(わくわくワーク)の実施(3回)	目標	( 3回 )	( 3回 )	( )	( 3回 )	
		実績	1回	3回		0回	
達成状況説明	・本部町内全小中のジョブシャドウイング4回及び職場体験3回を実施することができた。事前学習において目標を持って臨むこと、マナーの重要性等を理解したうえで各体験に取り組んだ。 ・教職員向けマナー研修は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。 ・新型コロナウイルス感染拡大予防のため本部町内企業による企業プレゼン大会は中止し「本部町地域活性化案を考えよう」へ移行し4回実施した。 ・町内企業体験学習会の代わりに各学校での職場体験へ移行した。						
<b>成果目標(指標)</b>	R4成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(年度)
	働くことへの興味・関心が湧いた(80%以上)を含め、小中高生へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。		目標	( )	( 80% )	( )	( 80% )
		実績		89%		81%	

及び進捗状況	進捗状況説明	本部町内小中学生へ、事後アンケートを取り、243人から回答を得た。集計の結果、「働くことへの興味・関心が湧いた？」の問いに対し、「興味関心をもった」の割合が81.4%となり、目標を達成した。
--------	--------	---

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度当初から新型コロナウイルス感染症の影響を受け、本部高校生のインターンシップ派遣は、学校側との協議の上、年間を通して見送りとなった。</li> <li>・インターンシップについては受入側の企業および実施時期等の調整で、実績が目標を下回った。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響をかなり受けたが、代替のプログラムを実施したことで成果目標を達成することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした、ジョブシャドウイングおよびインターンシップについては、新たな試みとして「本部町の活性化案を考えよう」という取り組みを実施した。</li> <li>・今年度のように事業実施が計画通りに進まないときのために、代替事業を各種企画しておくことで事業継続を図り、児童生徒の就業に対する意識付けを低下させることが無いように事業を運営していく必要がある。</li> </ul>

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度町内企業の紹介冊子を作成を行ったので、これを活用し次年度以降は地域人材による「企業人講話」等のキャリア教育を実施していく。</li> <li>・SDGsなど世界規模でこれからの企業が実施していく事や、新学習指導要領に対応した新しい事前学習に取り組む。</li> <li>・コミュニティスクールなどの取り組みにより、地域と学校との繋がりが必要になるため、地域を形成する地元企業と学校との繋がりをより強化する取り組みを検討する。</li> </ul>

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本部町グッジョブ連携協議会はキャリア教育支援を行うことを目的に平成26年に設立された本町唯一の団体であり、補助先として妥当であると考えます。 ○予算規模は事業内容に見合った適正な規模であった。 ○費用、使途等については補助金申請時に事業目的に沿っているものか確認し交付決定を行っており、実績報告をもって額の確定をおこなった結果、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	本部町						
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	3-②	テレワーカー人材育成事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	4章-3-(11)-イ 多様な働き方の促進と働きやすい環境づくり		
担当部署名	企画商工観光課	事業実施 (予定)年度	令和4～令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-2		
事業内容	テレワーカー人材の育成を図るため、町民を対象にテレワークに関する講習から就労支援までを一体的に実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額 (b-a) (d) 繰越額 A. 計 (b+d) B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率 (%) (B/A)		6,885				
			6,884				
			▲ 1				
			0				
			6,884				
		6,884					
		5,507					
		0					
		100.0%					
予算の状況の説明	当初の予定通り事業を実施した。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	テレワークに関する各種セミナーの開催(受講者50名)	目標	( 50人 )	(      )	(      )	(      )	
		実績	56人				
	テレワーカーの就労支援(業務斡旋1人1回ずつ実施)	目標	( 1人1回ずつ実施 )	(      )	(      )	(      )	
		実績	1人1回ずつ実施				
達成状況説明	当初、50人を定員として受講者募集を行ったが、想定以上の応募があったため、定員枠を増やして対応した。受講者の要望に応じた各種セミナーを開催し、就労支援を実施することができた。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (      年度)
	テレワーカーとして就労した人数(受講者の25%以上)	目標	(      )	( 25% )	(      )	(      )	(      )
		実績		30%			
		目標	(      )	(      )	(      )	(      )	(      )
		実績					
	進捗状況説明	受講者56人中、就労支援を受けて収入を得た人数が17人となり、目標の25%以上を達成することができた。就労支援を受けた受講者には、テレワーク業務の仲介プラットフォームに登録してもらい、引き続き業務を受注できる体制を構築した。					

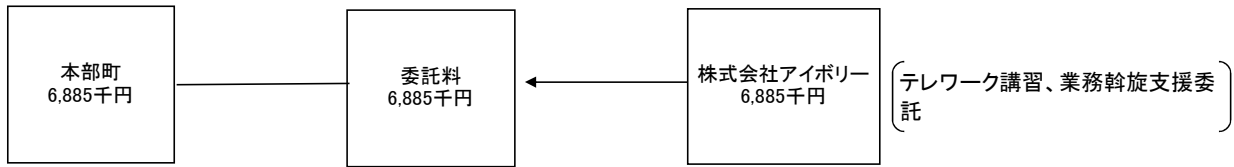
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>目標は達成したが、R4年度の事業終了までに就労に至らなかった受講者が発生した。 本業が多忙になったことや、講習内容が自身のレベルに合わなかったことなどが要因となっていることが、アンケート調査により判明した。</p>	<p>事前アンケートの実施や、受講期間中の相談窓口の設置などにより、受講者の意向を確認しながら、プラットフォームへの登録の促進や、再受講等を実施し、就労に繋がるようフォローアップを進める。</p>

**今後の取り組み方針**

より多くの受講者が就労できるよう、受講者のレベルに応じた様々な講習の実施を検討する。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,885	6,885	5,507	1,378	0

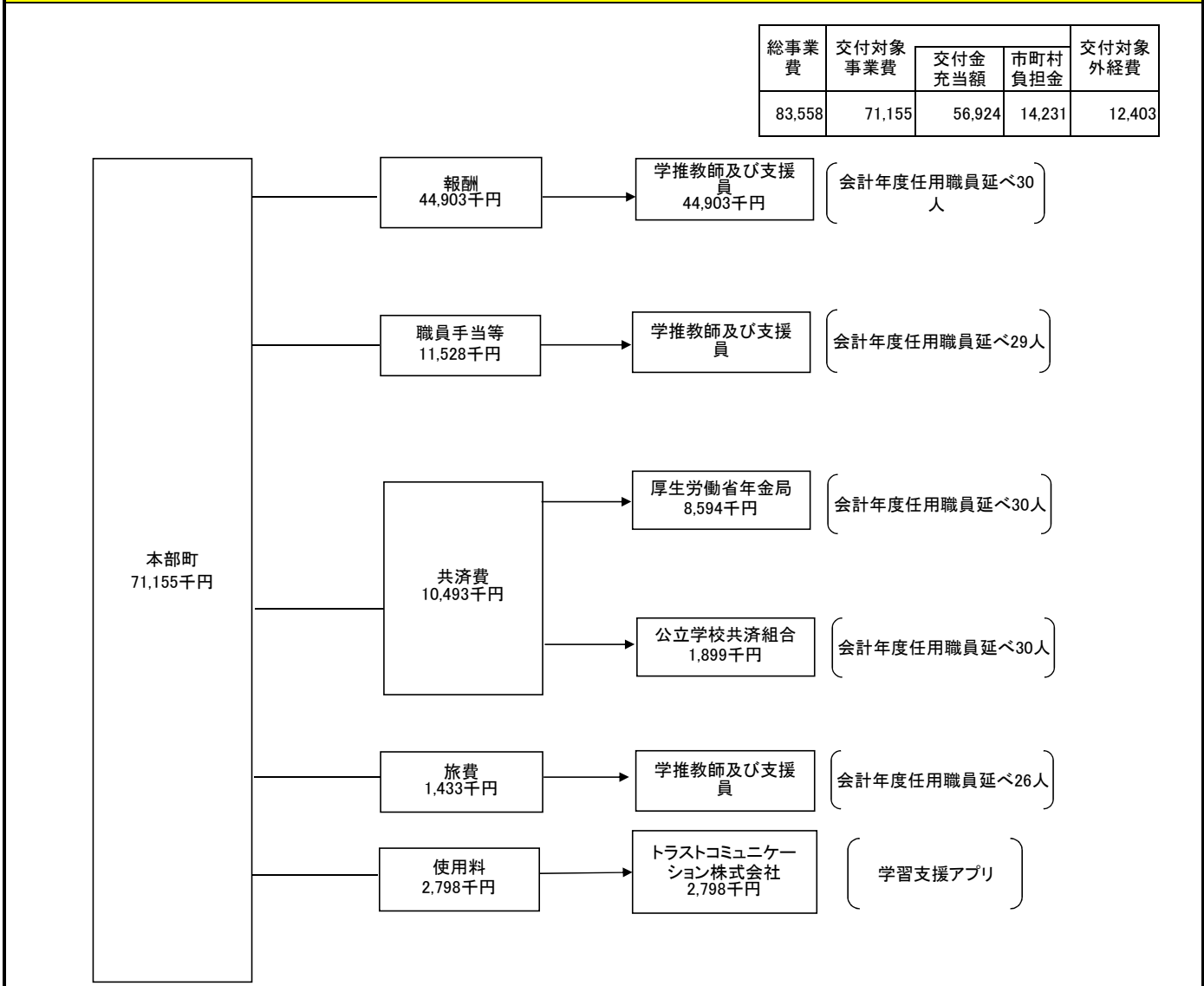


資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託事業者は公募型プロポーザルで選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は無く適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	本部町						
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	4-①	本部町学力向上学習支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成26～令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	確かな学力を身に付ける学校教育の充実  Ⅲ-3-(1)	
事業内容	町内小中学校に学習支援員を配置し、主要教科において、児童生徒の学力に応じた個々の学習指導を行い、学力の向上を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	35,172	74,222	76,410	73,768	82,818
		(b) 予算現額	35,172	74,222	65,327	64,913	76,115
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 11,083	▲ 8,855	▲ 6,703
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		35,172	74,222	65,327	64,913	76,115
	B. 執行済額		33,237	63,837	64,645	65,792	71,155
	うち交付金充当額		26,589	51,069	51,716	51,930	56,924
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		94.5%	86.0%	99.0%	101.4%	93.5%
予算の状況の説明		予算の減額については、新型コロナウイルス感染症による自宅待機期間発生等による勤務実績によるもの。					
<b>活動目標 (指標) 及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	町立小学校 4校へ配置	目標	( 5校 )	( 4校 )	( 4校 )	( 4校 )	
		実績	5校	4校	4校	4校	
	町立中学校 3校へ配置	目標	( 3校 )	( 3校 )	( 3校 )	( 3校 )	
		実績	3校	3校	3校	3校	
達成状況説明	小学校5校へ19名(学力向上推進教師10名、学習生活支援員9名)、中学校3校へ10名(学力向上推進教師4名、学習生活支援員5名)の支援員配置を行い、授業中の支援、放課後の補習といった学習支援を行い、学力の向上を図った。						
<b>成果目標 (指標) 及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	令和4年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 小学校 -3.8ポイント以上	目標	(      )	( -6.6 )	( -4.9 )	( -3.8 )	(      )
		実績	/	-4.28	-9.4	-9.75	/
	令和4年度沖縄県学力到達度調査での県平均正答率との差 中学校 -5.4ポイント以上	目標	(      )	( -4.5 )	( -4.1 )	( -5.4 )	(      )
		実績	/	-6.93	-4.22	-5.7	/
	進捗状況説明	沖縄県学力到達度調査における正答率の県平均と本町との差は、 ・小学校 -9.75ポイント(国語・算数(5～6年)) ・中学校 -5.7ポイント(国語・数学(1～2年)) となり、小学校中学校ともに目標達成に至らなかった。なお、令和4年度の学力到達度調査で実施のあった科目で実績を算出した。					

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	① 苦手分野を残したまま次の学年へ進級するため、学年が上がるにつれて正答率が低下する傾向が見られる。 ② 県平均に比べて無回答率が高く、基礎学力の定着が不十分だったと考えられ、小中学校ともに目標達成には至らず、昨年度に比べて県平均との差が開く結果となった。	① 苦手分野を残したまま次の学年へ進級しないよう、個別指導・補習等の学習支援を行う必要がある。 ② 学習に集中できない児童生徒へのアプローチの仕方・学習意欲を向上させる声掛けの方法などを共有し、学習の効率化を図る。
	<b>今後の取り組み方針</b>	
① 授業に遅れが見られる児童生徒には補習の時間を設け、苦手分野を克服できるよう努める。 ② 研修会や情報交換を適宜行い、各学校の取り組み等を共有し学校間の格差を小さくする。		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○ 学習支援員の雇用は条例、規則に則りなされており妥当である。 ○ 学習支援アプリは入札を行い契約した。 ○ 休暇・欠員に伴う補正減や不用額が生じているが、予算規模は事業内容に見合った適正な規模である。 ○ 費用・使途の必要性及び執行状況を確認しており適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

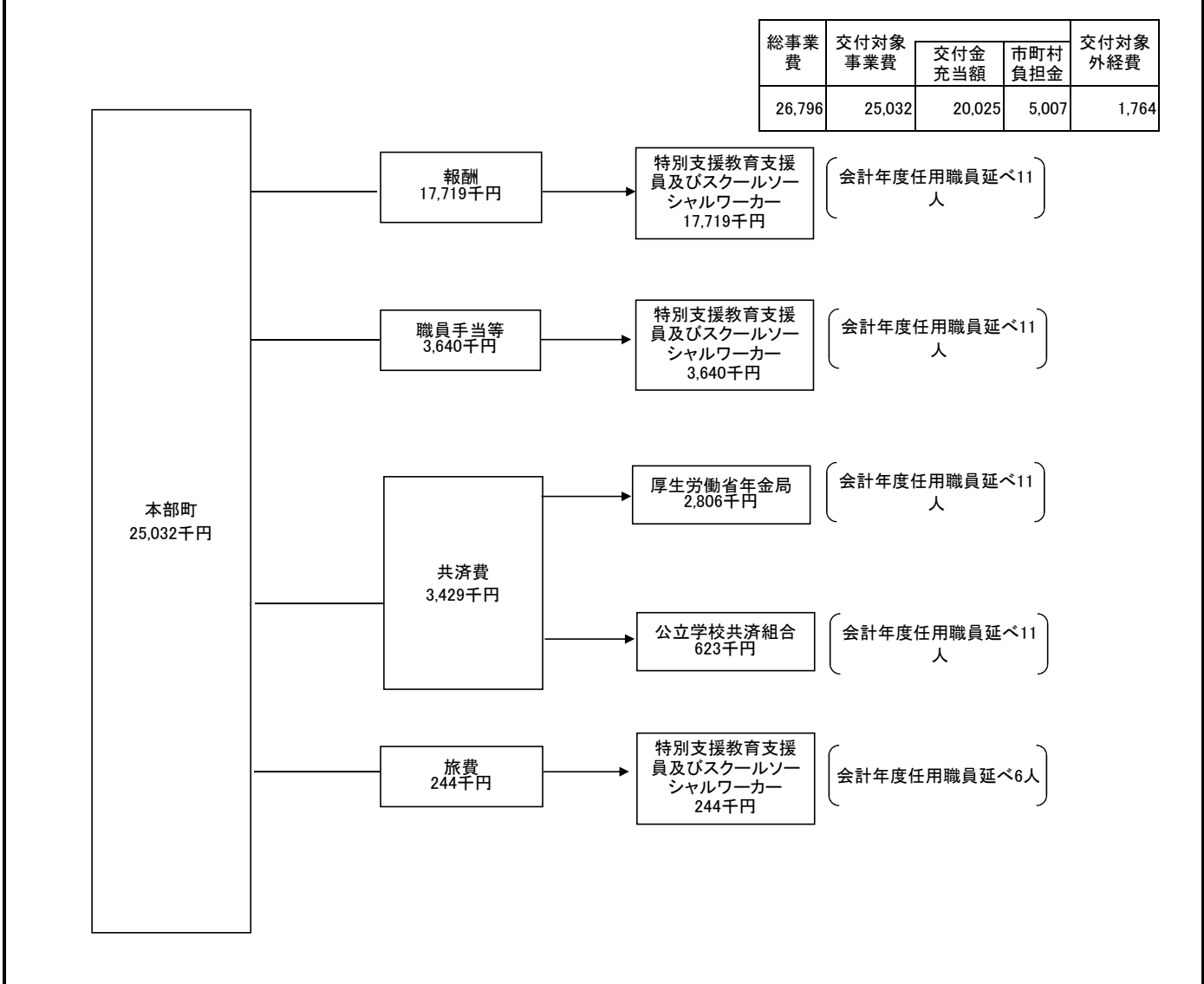
市町村名	本部町						
<b>令和4年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】</b>							
事業番号・事業名	4-②	特別支援教育環境充実事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-エ	
担当部課名	教育委員会	事業実施 (予定)年度	平成28年～令和13年 年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進  Ⅲ-3-(1)	
事業内容	特別な支援を要する園児児童生徒に対し、特別支援教育支援員等を配置し、学校生活や学習支援上の困難の改善を図る。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(      年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他(      )						
<b>予算額・執行額</b> <b>【単位:千円】</b> (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	33,082	18,703	20,652	21,769	28,573
		(b) 予算現額	33,082	15,885	19,423	21,382	25,580
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 2,818	▲ 1,229	▲ 387	▲ 2,993
		(d) 繰越額	0	0	0	0	0
	A. 計(b+d)		33,082	15,885	19,423	21,382	25,580
	B. 執行済額		31,294	15,885	19,309	21,639	25,032
	うち交付金充当額		25,035	12,708	15,447	17,105	20,025
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		94.6%	100.0%	99.4%	101.2%	97.9%
予算の状況の説明		無給休暇および新型コロナウイルスによる自宅待機期間により対象外経費が発生したため、予算の減額を行った。					
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	R4活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	
	特別支援教育支援員 9名配置	目標	( 小学校1名 幼稚園7名 )	( 小学校1名 幼稚園7名 )	( 中学校1名 幼稚園7名 )	( 中学校1名 幼稚園8名 )	
		実績	小学校1名 幼稚園6名	小学校1名 幼稚園7名	中学校1名 幼稚園7名	中学校1名 幼稚園8名	
	スクールソーシャルワーカー 2名配置	目標	( 2名 )	( 2名 )	( 2名 )	( 2名 )	
		実績	2名	2名	2名	2名	
達成状況説明	・本部中学校1名、本部幼稚園5名、上本部幼稚園1名、瀬底幼稚園1名、伊豆味幼稚園1名の計9名を配置した。 ・各支援員が、支援を要する園児児童に対し、校長、教頭、学級担任等と支援検討を行いながら対応した。 ・スクールソーシャルワーカーを2名雇用し、各学校を巡回しながら支援を要する園児児童生徒及び家庭の情報を収集し、支援にあたった。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	R4成果目標(指標)		基準値 (年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値 (年度)
	特別支援員の対応への満足度(80%以上)を含め、園児児童生徒の保護者へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する。	目標	(      )	( 80% )	( 80% )	( 80% )	(      )
		実績	/	94%	92%	86%	/
			目標	(      )	(      )	(      )	(      )
			実績	/			/
進捗状況説明	保護者に対するアンケートによる検証を行った結果、「特別な支援が必要な子どもに対し、丁寧な支援を行っているか」との設問に86%の保護者から肯定的な回答を得た。 アンケートの結果から、支援を要する園児児童に対する活動において、保護者から高い評価を得ていることが確認できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本事業は特別な支援を要する子ども達への理解やSSWの面談等について保護者から高い評価を得ており、支援員が適切な支援ができたと考えられる。満足度の維持のため、引き続き支援員間の情報交換や研修会を開催し、スキルアップを図る。</p>	<p>①児童生徒の支援方法は、個々によってさまざまであるため定期的に研修会を開催し指導の質の向上を図る必要がある。 ②学校とスクールソーシャルワーカー間で情報共有を適宜行い、問題を抱える児童生徒の発見に努める必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

- ①過去の事例紹介や専門家講師の研修を行い、より個々の実態に合った支援方法の確立を図る。  
②問題を抱える児童生徒については、スクールソーシャルワーカーだけでなく学校、教育委員会を含めた支援体制をつくり、適切な対応を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支援員及びSSWの雇用は、条例及び規則に基づき実施している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○雇用実績に伴う補正減があるものの、予算規模は事業内容に見合った適正な規模であった。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用・使途については、出勤日数、休暇処理、日給、保険料計算のための月額報酬等を確認の上、目的に即した必要な支出であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	